

令和6年6月6日

お客様各位

ひまわり信用金庫

第15回懸賞付き地域貢献定期預金『心ときめき』による 「集音器付き軟骨伝導イヤホン」の寄贈について

ひまわり信用金庫（理事長：台 正昭）は、地域貢献活動の一環として、令和4年12月から令和5年3月まで取り扱いました、第15回懸賞付き地域貢献定期預金『心ときめき』のお預かり残高の0.01%相当額に当金庫からの寄付金を加え、「集音器付き軟骨伝導イヤホン」をいわき市に30個、（社福）いわき市社会福祉協議会に10個を寄贈いたしました。

また、いわき市及び（社福）いわき市社会福祉協議会から今回の寄贈に対しまして、感謝状を受領しましたので、お知らせいたします。

皆様におかれましては、本地域貢献定期預金の趣旨にご賛同いただき、誠にありがとうございました。

【いわき市役所における寄贈式】



【（社福）いわき市社会福祉協議会における寄贈式】



寄贈式には、「軟骨伝導」を発見された奈良県立医科大学の細井裕司理事長・学長（左から1人目）と、この技術を用いた商品開発などを促進してきた全国の信用金庫が連携したビジネスマッチングサイト「よい仕事おこしネットワーク」の事務局である城南信用金庫の川本恭治理事長（右から1人目）も同席されました。

【集音器付き軟骨伝導イヤホンについて】

「軟骨伝導」は、耳の入口付近にある軟骨に振動を当て、耳の中に音源が発生させることで空気の波を通じて鼓膜が震え、音が聞こえる仕組みで、平成16（2004）年に奈良県立医科大学の細井裕司教授（現理事長・学長）により発見されました。

耳へ装着するイヤホン部分が球体で穴や凸凹がないため、汚れても簡単に拭くことができ、一般的なイヤホンに比べて衛生的であることに加え、耳穴を塞がずに耳の入口に軽く添えるだけで音を聞くことができるため、一般的なイヤホンや骨伝導イヤホンと比べて耳の痛みや音漏れが少ないといった利点があります。この技術は、来年（令和7年）4月に開幕する「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」のパビリオンでも採用されます。

以上